



キイロハラナグツチバチ
Megacampsomeris mojienis



- ・調査日：2025年6月29日 9:30~11:45
- ・天気：晴れ ・気温：29℃

すごくあつい！汗だくになりながら、池の周りを中心に調査をしました。

隊員のいきもの調査日誌

隊員：金城すみれ

私はタテスジヒメジンガサハムシを紹介します。タテスジヒメジンガサハムシは甲虫目ハムシ科で農作物に付きます。成虫は植物の葉につき3月から9月頃に見られます。体は緑に黒い模様で、周りは透き通った緑色です。畑でエンサイに付いている幼虫を見つけたので成虫になるまで飼育してみました。

幼虫は脱皮をすると脱皮の殻を体の背中の下部分に積み上げます。触れると脱皮の殻を積み上げた突起を動かして威嚇をします。成虫になる時は、積み上げた突起ごと殻を脱いで、綺麗な緑色の成虫になります。

皆さんも是非観察してみてください。

タテスジヒメジンガサハムシ
Cassida circumdata
ハムシ科



いきもの調査隊 ってなーに？

研究者と一緒に、沖縄こどもの国に生息する様々な野生動物・植物を調査し、標本や図鑑を作成します。作成した標本や図鑑はこどもの国にて展示し、いろんな人に沖縄の身近な自然について知ってもらおうボランティア活動です。



さとう先生、植物ありんくりん

佐藤 寛之 理学博士
さとう先生が教える、植物のあれこれ♪



野生の特徴を持っているお米

アハガラシ

調査地では現在、黒っぽい穂がみられます。「のぎ」と呼ばれるヒゲが長いなど、原種の特徴を多く持つイネでアハガラシと呼ばれます。色素を多いため、炊くと赤飯のようなピンク色の飯になります。ここではほかにも色々在来作物を育てているので注目してみてください。

とね先生、今月の

イチむし



刀禰 浩一 沖縄市立郷土博物館学芸員
とね先生がイチオシの虫を紹介するコーナー♪

キイロハラナグツチバチ
Megacampsomeris mojienis
ツチバチ科



コガネムシを狩るツチバチ

地面すれすれの低い位置を飛び回るハチがいました。ツチバチの仲間です。ツチバチのメスは穴を掘って、地中にあるコガネムシの中間の幼虫を刺して麻痺させ卵を産み付け、孵化したハチの幼虫はそのコガネムシ幼虫の体を食べて育ちます。コガネムシをさがすメスを追いかけ、オスも同じ高さと飛んでいます。黄色と黒のしま模様で大き目の体格で恐ろしく見えますが、メスをつかんだりしなければ刺されませんので、観察してみましょう。